

各位

会社名 株式会社歯愛メディカル
(コード番号 3540、東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 清水 清人
問合せ先 取締役経営管理部長 三好 誠治
TEL 076-278-8802
URL <https://ci-medical.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向および企業結合の状況等を踏まえて、2024年2月13日に公表した2024年12月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 50,000	百万円 3,528	百万円 3,620	百万円 2,447	円 銭 48.95
今回修正予想 (B)	67,553	2,349	2,475	6,130	122.62
増減額 (B-A)	17,553	△1,179	△1,145	3,683	
増減率 (%)	35.1%	△33.4%	△31.6%	150.5%	
(ご参考) 前期実績	45,628	2,989	3,295	2,082	41.65

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 修正の理由

売上高については、ここまではほぼ計画通り推移している中、2024年7月1日付で株式会社ニッセンホールディングス（以下「ニッセンホールディングス」という）の全株式を取得し子会社化したことにより、同社グループの売上高が当連結年度第3四半期より反映されるため、本年2月に発表した業績予想を上回る見込みとなりました。

営業利益および経常利益については、経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の金額確定に伴う当社新本社ロジスティクスセンター（所在地：石川県能美市）の対象固定資産の圧縮記帳による減価償却費の減額効果を、当連結会計年度の業績予想に織り込んでおりました。しかしながら、現状は本年10月23日に同対策のための国内投資促進事業事務局による現地検査を特段問題なく終了しましたが、同事務局からは現地検査終了後から補助金額確定までに数カ月を要するとのこと説明を受けております。そのため、当社の今事業年度末（2024年12月末）までに補助金額が確定しない可能性を考慮し、当該圧縮記帳を実施しない前提へ業績予想を修正し、その影響で営業利益および経常利益が約10億円減少することを見込んでおります（なお、同利益減少額は、翌期に補

助金額が確定した際に補助金収入として計上されることで解消され、2期通算での税金等調整前当期純利益での損益影響はプラスマイナスゼロとなります。

また、前述のニッセンホールディングスの子会社化により、当連結年度第3四半期より同社グループの損益につきましても反映されることとなります。同社グループは、現在当社との協業による事業シナジーの創出および経営効率化によりコスト削減効果の早期実現に向け取り組んでおりますが、現時点では再建途上ということもあり営業利益および経常利益が約1億円減少することが見込まれる等、本年2月に発表した業績予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の圧縮記帳を実施しない前提より約8億円減少することを見込んでおります（なお、同利益減少額は、営業利益および経常利益でもご説明の理由により、2期通算での同利益での損益影響はプラスマイナスゼロとなります）。

その一方で、前述のニッセンホールディングス子会社化において、同社グループの取得時時価純資産と同社株式取得価額の差額相当について特別利益の発生を見込んでおります。現時点においては、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり取得原価の配分は完了しておりません。よって、暫定的な会計処理を前提としておりますが、同社グループ子会社化の影響による当期純利益の増加額は約45億円を見込んでいることから、本年2月に発表した業績予想を上回る見込みとなりました。

以上の通り、今事業年度末（2024年12月末）までに補助金額が確定しない場合に生じる減益影響は2期通算では解消されます。また、今事業年度に連結したニッセンホールディングスに関しましては、当社との協業によるクロスセル等による販売拡大等の事業シナジーの創出および事業インフラの相互活用による経営効率化等の早期実現により、企業価値拡大に向けて引き続き取り組んでまいります。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上